

令和7年2月21日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）地元企業との連携によるキャリア教育の充実について

中学生や高校生に多様な地元企業の存在とその業務内容を知ってもらうため、県内企業と連携したキャリア教育及び職業教育の充実を図る必要があると考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

キャリア教育の充実に向けましては、生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力を身に付けることが重要であると認識しております。

このため、各学校におきまして、年間指導計画に基づき、県内の地元企業と連携して体験活動の充実を図るなど、生徒の実態や地域のニーズなどに応じたキャリア教育を展開しているところでございます。

例えば、中学校におきましては、職場体験活動を通じて各学校が地元企業と連携し、生徒が学ぶことや働くことの大切さについて、体験的に学んでおります。

高等学校におきましては、「総合的な探究の時間」などで、地域や地元企業の方々と直接、具体的な課題の解決に取り組む学習活動を通して、生徒自身が学ぶ意味や、自分の将来や人生について考えを深めております。

とりわけ、福山工業高等学校などの専門高校3校におきましては、本年度から産業教育コーディネーターを配置し、学校と産業界との組織的・持続的な協力関係を構築することにより、企業等が求める人材を把握し、地元企業と連携した職業教育を充実させ、本県産業の発展を担う職業人の育成に取り組んでおります。

さらに、来年度からは、新たに、商工労働局と連携して、社会見学や職場体験活動などに協力可能な企業を検索できるデータベースを作成・活用し、学校と地元企業との橋渡しを行い、児童生徒が企業の魅力に直接触れる機会を確保・充実してまいります。

教育委員会といたしましては、地元企業との連携を拡大・強化しながら、キャリア教育及び職業教育の充実を図り、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成に取り組んでまいります。